



## 東地中海地域ニュース

### オマーン：カブース・オマーン国王のイラン公式訪問

(8月4日付現地各紙)

1. カブース・オマーン国王は、アフマディネジャード・イラン大統領の招待により、8月4日から3日間の日程でイランを公式訪問する。
2. 訪問中にカブース国王は、アフマディネジャード大統領と、オマーン・イラン両国の強い歴史的関係及び二国間協力を拡大させる方策について議論するほか、地域及び国際情勢の観点から共通関心事項について議論する予定である。
3. 今回の訪問には、アリー宮内相、マアマリ国王事務所相、アラウイ外務担当相、マッキー国家経済相、ラフワース文化担当国王顧問、マアマリ王立警察長官、マクブール商工相、ムーヒ保健相、ムルヒー石油ガス相、オライミ駐イラン・オマーン国大使等の政府高官が随行する。
4. モッタキ・イラン外相の声明
  - (1)イランのモッタキ外相は、カブース国王の今般のイラン公式訪問に関する声明の中で、「今回のカブース国王の訪問は、二国間協力の展望を更に広げるものになる」と述べた。又、地域、国際問題に関するカブース国王の地検、洞察力及び健全な意見を称賛し、更に、イランとオマーン、イランとGCC諸国との協力は、カブース国王の指導的かつ積極的なアプローチによるものであるとし、この関連で、オマーン側の提案による、イランとGCC諸国による自由貿易圏の創設に言及した。
  - (2)又、同外相は、2年前のレバノン危機の際に、カタール、シリア及びイランと共にオマーンが果たした役割と政策を高く評価すると共に、オマーンがイスラム諸国会議機構(OIC)、非同盟運動(NAM)及び国連の積極的なメンバーであり、「平和的原子力技術」の分野などでイラン人の正当な権利を終始支持してくれていると述べた。
  - (3)モッタキ外相は、イラン・オマーン両国間では、石油ガスをはじめとする様々な分野で建設的な対話が進められており、天然ガスについては両国の合意及びオマーンのニーズに従って供給する用意があると述べた。又、同外相は、石油化学や観光などでの両国の共同投資は両国間の関係強化の例であると述べた。
  - (4)同外相は、アフマディネジャード大統領とカブース国王との会談では、政治案件、地域安全保障、経済危機及び地域のエネルギー問題などが議論されるであろうと述べた。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799